

令和6年度 明石市地域自立支援協議会

こども部会 リポート V o 1.24 令和7年3月28日

発行元：明石市地域自立支援協議会 こども部会 事務局（明石市基幹相談支援センター）

住所：明石市貴崎1丁目5番13号（明石市立総合福祉センター1階）

電話番号：078-924-9155 ファクシミリ：078-924-9134

山本副部長より

皆様、こんにちは。明石市立ゆりかご園の管理者兼副施設長の山本貴世と申します。この度、こども部会 副部長をさせていただくことになりました。

児童通所サービス等事業所連絡会には平成26年の発足当初より参加させていただき、途中、参加していない時期も経まして、令和6年7月より再度参加させていただいています。再度参加させていただくようになって一番驚いたことは、グループワークにおける、事業所の方同士の意見交換の熱量です。連絡会発足時から掲げられていた「顔が見えるネットワークづくり」が、これまでの積み重ねにより、しっかりとできていると実感しています。この築かれているネットワークのもと、こども達への支援や地域の中で困っていること、課題となっていることを出し合い、話し合い、解決の糸口を探る、そんな充実した取り組みが今後もできるよう、お手伝いできればと考えております。どうぞよろしくお願い致します。



児童通所サービス等事業所連絡会 活動報告

第6回【令和6年10月15（火）】

◎ワンポイントレッスン

「保護者の声 その思い」 当事者の親の皆さまより

放課後等デイサービスに対しての満足度が上がってきているとのお話がありました。

現状の困りごととして、地域の学校の特別支援学級での先生とのやりとりや進路についてが挙げられました。また、日祝日に利用できる短期入所がないことや、医ケア児等の利用できる施設や制度の充実への要望等のお声を聞かせていただきました。災害時の障害児への配慮についての必要性についてもお話がありました。

各種手当や制度でまだ実情では不十分であることが、保護者のみなさまからのお話で知ることができました。

◎情報共有・意見交換

・保護者の方のお話をお聞きして、各事業所でできることや、利用しているお子さんの保護者の方から同じようなお困りごとをお聞きしていることなどを参加者で共有しました。



第7回【令和6年11月19日（火）】

◎ワンポイントレッスン

「サポートノートについて」

明石市立発達支援センター 山内 幸恵 氏 / 田模 里奈 氏

サポートノートを活用することで、保護者も支援者も支援のつなぎめなどでの負担軽減になることがお話されました。

活用に当たり、具体的な書き方や支援者としてどの部分をお手伝いできるかなどのアドバイスがありました。



◎情報共有・意見交換

- ・運営会議で挙げた「18歳の壁」についての事例を共有し、ニーズや資源についてグループワークで意見を出し合いました。

類似するニーズとして、18歳未満でも放デイから帰宅の時間にはまだ家族は帰宅しておらず、対応を検討しているケースや、事業所利用時点で既に保護者が勤務の変更や退職等している家庭もあるなどの意見があがりました。また、事業所として工夫していることとして、送迎時間の調整や、自力通所の支援、自宅のカギの開け閉めの練習などの対応をしているとのお話がありました。

社会資源として、こども食堂、学童、ファミサポの利用などが挙げられました。



第8回【令和6年12月17日（火）】

◎ワンポイントレッスン①

「こども育成室の役割と保育施設への入園・入所について」

明石市こども局こども育成室 津村 基子 氏

特別な支援を要する園児の公立保育園・幼保連携型こども園及び公立こども園の場合の

申し込みから入園までの流れについて説明がありました。また、発達巡回指導、幼児教育相談室についての説明もありました。

◎ワンポイントレッスン②

「就学相談を中心に」

明石市教育委員会学校教育課 大西 修平 氏

進路選択に当たって、こどもの長所・短所・発達特性を踏まえた長期的な視点が必要とのお話がありました。

長期的に、その子がどのような力を付けていく必要があるのか、保護者と共通理解を行うことが大切なため、保護者から、進路相談や学校園についての相談を受けた場合は、まずは在籍校へ相談するよう助言いただきたいとのお話がありました。

◎情報共有・意見交換

- ・部会長より、先月のニーズ調査・資源調査の意見報告の共有と来月の連絡会で改めて地域課題解決のための検討の時間を作る予定であることのお話がありました。

第9回【令和7年1月21日（火）】

◎ワンポイントレッスン

「ことばを育むために日々の関りで意識できること」

明石市立ゆりかご園 多幡 冴子 氏

脳機能についての解説と、ことばの発達には「共感の土台」が大切になるとのお話がありました。

また、語彙力の育み方やインリアルアプローチ等支援者の関わり方やアプローチの仕方について具体的な説明がありました。

◎情報共有・意見交換

「18歳の壁」についてグループで再協議をおこないました。児童通所サービス事業所としてできることや、それに対する課題、また様々なアイデアが沢山挙がりました。



第10回【令和7年2月18日（火）】

◎事業所紹介

- 「いろえんぴつ」 藤田 弘氏
- 「ねがい星そら」 中井 みゆき氏 中井 美織氏
- 「つぼみ elua」 大西 弥生氏



◎情報共有・意見交換

事業所で好評だったプログラムや支援についてグループワークで共有を行いました。

第11回【令和7年3月18日（火）】

◎情報共有・意見交換

- 「1年を振り返って」～参加されたみなさまからの感想やご意見～
 - ・今年はグループワークの機会が多く、「18歳の壁」の現状もしることができ、情報共有が行えたことは大変有意義だった。
 - ・顔を合わせた情報交換が行え、事業所間での相談がしやすくなり連携がとりやすくなった。
 - ・ワンポイントレッスンと意見交換があり、支援に対する意欲が上がり他事業所の職員さんが頑張っている姿を見ると自分も頑張ろうと支えてもらっている。
 - ・ワンポイントレッスンがあることで自身のスキルアップになっている。

